

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 8 年 5 月 11 日 (13:00～13:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 4 名 (意見確認 14 名)

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	1 人	1 人	14 人
前回の改善計画		・ミーティングや研修を通して職員間のケアの統一を目指し、必要としている支援により一層近づけるようにする。 ・得た情報を正しく使用できているのかを他職員と確認する場を多く持つように各自で意識する。				
前回の改善計画に対する取組み結果		・職員間での情報共有は申し送りや記録で行い、支援の質は上がったと思う。 ・ミーティングの開催が少なく利用者個々についての情報共有も不十分。そのため情報の利用については意識はするが、統一した認識とまでは言えない状況である。				

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6 人	6 人	1 人	1 人	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7 人	6 人	1 人	0 人	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6 人	8 人	0 人	0 人	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6 人	5 人	1 人	2 人	14 人
できている点		200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ミーティング以外でも、サービス開始前に基本情報、ケアプラン等を各自確認できる環境になっており、事前準備も実施できた。 ・ご本人やご家族のご要望に合わせ、可能な限り対応した。 ・利用間もない方に対しては、声掛けを多めにして対応することで、不安にならないよう、また関係性を構築しやすい環境となるように配慮した。 ・ご家族様への電話連絡等のお話の機会がある時には、近況報告と合わせご本人の様子をお伝えするようにした。				

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングの機会が少なく、ご利用者個々の情報共有や意見交換する場も少ない。 ・伝達方法や仕組みが統一していない事が、不在のスタッフにまで申し送りが途絶えることの理由と思われる。 ・ご利用者の状態によって、そのご家族との会話の機会や情報提供が少ないと十分な意思疎通ができないため必要な支援が出来ているかわからないと感ずることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・情報共有を十分に行えるように、ケース記録、連絡ノート、申し送りの仕組みを整えを精度上げる。 ・ご利用者個々に対して、意見交換できる場を設ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8 年 4 月 9 日 (13:00～13:30)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	4 名（意見確認 14 名）

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 人	2 人	2 人	14 人

前回の改善計画	・利用者との関わりを増やし、ニーズに合わせた支援を目指せるように、ミーティング機会の増設など業務改善に努める。 ・日々の情報収集を個別援助計画に反映させられるようにミーティングでの周知、支援状況の統一を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングの増設は職員体制上、残業前提でなければ難しい。職員の労働負担の軽減を優先し敢えて実施しなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	5 人	7 人	2 人	0 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	5 人	5 人	4 人	0 人	14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	5 人	6 人	3 人	0 人	14 人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	7 人	5 人	1 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・主に利用者との関わりの中で「したい」ことを聞き出しケアに活かすことができている。 ・会話の可能な利用者のニーズを把握することができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員が個別で聞き出した情報が上手く共有できていない。 ・自分で想いを伝えることが困難な利用者に対して、気持ちに沿ったケアができているか不安を感じることもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・職員が個別で得た情報を共有するためのツールを作成する。 ・ニーズを把握することが困難な利用者は、過去の生活歴や性格などから適切なケアを考えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月11日(13:00～13:30)
3. 日常生活の支援	メンバー	4名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	5人	3人	14人

前回の改善計画	・情報共有をしやすいように「暮らしの情報シート」の更新を行い、担当以外でも「以前の暮らし方」が多く把握できるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご本人やご家族との会話の中で「以前の暮らし」を確認。活用できそうな情報はスタッフ間で共有した。 ・「暮らしの情報シート」の内容を行事や支援内容に活かす機会を作るのが難しく、また内容も詳細ではないため活用はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0人	6人	7人	1人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	8人	6人	0人	0人	14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4人	7人	2人	1人	14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	9人	5人	0人	0人	14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	5人	9人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ご利用者と会話する機会を積極的に作っている。 ・ケース記録、カンファレンス等で情報を共有。自立支援を基とした介護支援を意識して取り組んだ。また、介護記録に本人の声や想いを残すように努めた。 ・ケース記録の記入、業務リーダーへの報告、状況に応じて看護師への報告を行い、スタッフ間で共有と即時的な対応も行う事ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・基本情報は確認しているが、「以前の暮らし方」については把握できていない。 ・ケアミーティングを行っている職員もいるが、全体的に見ると各職員で開催するにはハードルが高いため、ケアについてのミーティングの開催はほとんどがモニタリング時のみとなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人やご家族から得た情報は全体に周知できるよう今後も「暮らしの情報シート」の活用を継続していく。 ・モニタリング以外にもケアミーティングのできる環境を設定する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月14日(13:00～13:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	5名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	4人	2人	1人	14人

前回の改善計画	・目標期間更新のモニタリング時に現状利用している以上の地域資源が必要かどうかの確認も併せて行うようにする。 ・上記の際に、担当職員が可能な限り自分で調べて提案するよう意識づける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源について職員各々で調べ、カンファレンス時に活用について議論している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3人	9人	1人	1人	14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5人	5人	2人	2人	14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5人	6人	1人	2人	14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2人	6人	3人	3人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・広報やフリーペーパー・インターネットなどで情報を収集し利用者やご家族にその情報を提供している。 ・高齢者住宅に入居している利用者には毎日午後から体調を伺うために訪室している。健康状態や生活状況の把握に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源についての情報収集や提案は職員によって差異がある状況。事業全体としては把握できていない部分も多い。 ・民生委員についての知識が不足しており関わる機会もほとんどない状態。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・民生委員の役割や取り組みを紹介する機会を作る。 ・個々で得た地域資源の情報をまとめるツールを作成する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月15日(13:00～13:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	4名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	1人	1人	14人

前回の改善計画	・今よりも地域資源を活用できるように、ボランティアが必要な場面などを話し合える場を定期的に持てるようにする。 ・毎月20日位までに申し出があれば翌月の連泊や週末の宿泊が可能な状況のため、今後も本人の体調や家族の負担を確認しながら、できるだけ柔軟な対応を行えるように提案をしたり多職種で連携できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・定期的なモニタリングで利用者に合った地域資源の活用について検討し、カンファレンスで話し合うようにしている。 ・通い時間の融通や宿泊利用は出来る限り柔軟に受け入れるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	7人	8人	0人	2人	14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7人	5人	1人	1人	14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8人	6人	0人	0人	14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8人	6人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域資源活用について、定期で話し合う事で自己評価の数値も昨年度より良くなっている。現在は主に訪問販売、訪問理美容の利用、余暇ボランティアなど様々な地域資源の活用ができるようにしている。 ・独居の場合は見守りが必要かどうか、同居なら家族の介護負担を確認しながら通いや宿泊の調整をしている。また、サ高住の利用者には出来ない事が増えた時は訪問サービスを組み込むことができています。 ・通い利用が生活の活性化に役立っていると感じる。利用する事で安心して過ごせる利用者がいたら増回できるか検討や調整をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所全体としては改善傾向であるが、職種や役割によってボランティア等の地域資源についての関わりに差が見られている。 ・サービス利用において、人員基準等の法令に則りながらできる限り対応はしているが、本人や家族の要望に十分応じられているか分からない面もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職種や役割、常勤非常勤にかかわらず地域資源についての話し合い(個別ケースの定期カンファレンス時)に参加できるよう調整する。 ・新入職員についてもボランティアの受け入れについての仕組みが分かるように指導に組み込む。 ・本人や家族の要望に応じられなかったケースがあれば記録に残し共有できるようにし、代替案を出しやすくする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月19日(13:00～13:30)
6. 連携・協働	メンバー	4名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	7人	2人	1人	14人

前回の改善計画	・担当者会議が予定されている際は予めケアマネに情報提供し、引き続き議事録や報告で内容を確認するように意識する。 ・運営推進会議等で町内のイベントを確認し、少しでも多くの利用者(希望している方)が参加できるように調整を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当者会議の前にケアマネに情報や意見を伝えることで専門職として連携することができている。 ・町内のイベントである夏祭りには利用者が参加できるように事前にシフトや業務を調整し参加に繋げることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	2人	3人	3人	6人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3人	2人	2人	7人	14人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	2人	4人	1人	7人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	4人	5人	4人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・町内の夏祭りや消防訓練などで地域の方々と交流する機会を持つことができた。 ・地域包括支援センターの会議には出席していないが、地域包括主催のイベントに参加し地域の課題などを共有することができた。 ・フラワーアレンジメントのボランティアなどを通じて地域でお店を営む方と交流することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・管理者、ケアマネなど一部の職種を除けば町内会や自治体など地域との接点が少ない。 ・事業所全体で見れば地域運営推進会議に毎回参加しているが、職員個別で見ると機会が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域のことをもっと詳しく知るために「地域情報用のファイル」を作成する。 ・地域の方に事業所のことを知ってもらうために地域活動への参加を検討する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月20日(13:00～13:30)
7. 運営	メンバー	4名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	11人	2人	1人	14人

前回の改善計画	・問題や改善案を吸い上げる機会が少ないため、会議の中で意見や要望について話す場を設ける。 ・利用者・家族・介護者・地域からの意見を全体会議で共有し、結果を確認する機会を設ける。 ・地域ボランティアを積極的に活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・全体会議において、意見や要望の場を十分に設けることができなかった。情報共有については会議内等でも改善や調整を重ね、確認する機会を設けることができた。 ・ボランティアについては、イベントでの活用や外部の依頼を受け実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3人	8人	1人	2人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	10人	0人	1人	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	7人	0人	4人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1人	9人	2人	2人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者からの苦情や要望があった際は管理者への報告、また会議での全体共有を経て対策や改善を話しあっている。 ・地域の集会に場所を提供、夏祭り行事の手伝いや参加で関わりを持つ取り組みをしている。 ・地域運営推進会議を通して、町内や包括支援センターから近隣の困りごと等情報を受けることができるようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・全体会議にて意見や提案ができず情報共有もできない職員もいる。参加人数、頻度が共に低い。 ・地域と協働した取り組みとして「夏祭りの手伝い」以外は積極的なアプローチはできなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・問題や改善案を検討できる場を会議内に設け運営に反映させる。 ・地域ボランティアを積極的に活用していく。 ・地域のイベント情報や協働できる取り組み等の情報を収集して積極的な参加を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月22日(13:00～13:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	4名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	4人	1人	14人

前回の改善計画	・事故防止委員会の設置検討や報告書様式の更新など行い、具体的な対策が立案できるようにする。 ・介護サービス外のリスクも報告書を上げるようにして提案をしやすくする等の業務改善を行い、利用者が地域で安全に生活できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事故防止委員会は未設置。 ・サービス時間外のヒヤリハットケースの報告書も作成することで、以前より利用者の情報を得られやすくなった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7人	7人	0人	0人	14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	8人	1人	1人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	1人	2人	3人	8人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4人	9人	1人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部研修や個別の外部研修への参加機会設けられ、知識や技術の向上に繋がった。また内部研修では不参加でも資料の閲覧ができる状況にあるのが良いとの評価。 ・サービス時間以外のヒヤリハット報告書の作成により、リスク管理等の情報周知率が上がった。そのため、各利用者のリスクや傾向を考えやすい状況を作れた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会については内容面でのマッチングや勤務体制上時間を捻出することができず参加実績が無かった。 ・事故・ヒヤリハットの原因分析、対策立案、実施方法、評価日時についての周知ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・事故防止委員会の設置検討。 ・事故・ヒヤリハット報告書において、原因分析、対策立案、実施方法、評価日時のルール更新と周知の徹底を行い、強固なリスクマネジメントが行える組織作りを目指す。 ・地域連絡会についての情報共有を図り、可能な限り多くの職員が携わることができる環境を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年4月27日(13:00～13:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	5名(意見確認14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	0人	2人	14人

前回の改善計画	・「札幌市成年後見推進センター」主催の関係者向け研修会に数名参加し、年度内に内部研修にて周知できるように企画する。 ・ケアチェック板の置き場所見直しのほか、掲示や各ファイルの運用についても見直す機会を持ち、個人情報適切に扱えるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員が成年後見推進センター主催の研修会に参加したが、成年後見制度の内容や手続きが難しく内部研修ができるほどの知識を習得できず内部研修はできなかった。 ・個人情報については各ファイルの場所など配慮されていると思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13人	1人	0人	0人	14人
②	虐待は行われていない	12人	2人	0人	0人	14人
③	プライバシーが守られている	4人	10人	0人	0人	14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5人	4人	2人	3人	14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6人	8人	0人	0人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待については研修等で理解を深め、介助方法に間違いがないか職員間で情報共有するなど意識が高まっていると見做せる。また、必要な委員会が設置されており、身体拘束や虐待が起きていないかなど話し合えている。 ・外部で虐待と思われる事案が発生したが、包括支援センターへ報告し繋げる事ができた。 ・個人情報が記載されている書類は鍵付きの保管庫にて保管し、不要時はシュレッダー処理をしている。 ・既に成年後見制度を利用している方については後見人と定期的に情報共有を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日常的な声掛けなどプライバシーへの配慮は概ねできているが、朝礼は利用者がフロア内に居る状態で開催しており、聞こえる範囲内で情報伝達をしてしまっている。習慣化されており代替案も用意できていない。 ・成年後見制度の内容が複雑であり、本人や家族に説明できるだけの知識が備わっていない。 ・成年後見制度を必要とされる利用者が誰なのか共有できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・プライバシーに配慮できるような朝礼の開催方法を検討する。 ・包括支援センターへ講話を依頼するなどして、成年後見制度の内容理解に繋がるようにする。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 西岡メディカル	代表者	西澤 寛樹	法人・ 事業所 の特徴	グループ法人のサービスと連携し、地域包括ケアシステムの一助となるサービスを展開できる。 地域住民との支え合いを実践している。 作成年月日：令和 8 年 6 月 30 日
事業所名	小規模多機能ホーム かいてき西岡	管理者	鈴木 隆幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	人	1 人	1 人	2 人	人	3 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・業務改善に自己評価の改善計画も盛り込む事で、少しでも多くの課題に取り組めるようにする。	・改善計画を行う事で業務改善にも繋がった事例があった。特にリスクマネジメントについての取り組みが強化されたと感じる。 ・一方で、やや具体性の低い計画や優先順位的に低い計画は手がつけられてなく課題の持ち越しとなっている事例もあった。 ・改善計画を実行するうえで職員によって認識等に差異が見られた場面もあり、標準化の必要性について感じる事があった。	・できている事、できていない事に対しても俯瞰して評価しており、真摯に向き合っていると感じる事ができている。 ・全員で議論し、問題・課題抽出をして前向きに行動する様子が伺える。 ・難しいテーマもあると思うが、今年度も改善計画達成に向け取り組んで頂きたい。 ・職員会議をより現場に近いかたちで行えるよう準備中。改善計画への取り組みもし易くなると考えている。 ・具体的なアクションプランを作り、達成、不達成がみえる化できると尚良い。	・新たな形態の職員会議を設ける事で改善計画に向き合いやすい環境を作り、各項目最低 1 つは取り組めるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・昨年度同様に季節ごとの装飾や外から見える印象も明るくなるような工夫をし、出入りがしやすいような環境整備をする。	・館内の装飾はレクリエーションの場面等で利用者も一緒に行いながら作成されており、来訪者からも概ね好評を得ている。 ・敷地スペースに花を植えたりし、出来る範囲で明るい雰囲気が出るようにしている。	・事業所は清潔で衛生的にも保たれており良好な環境と感じる。 ・作成した作品や装飾が随所に配置されており、温かみのある雰囲気が感じられる。 ・1 階エントランスが広いので空間を活かし開放的かつ綺麗な場作りができたなら尚良いと思う。	・これまでの環境整備の継続に加え、新たな取り組みについても検討し、雰囲気の良さを保てるようにしていく。

C. 事業所と地域のかかわり	・日々の相談援助体制や運営推進会議での意見要望、困りごとの確認を続け、小規模多機能が必要なケースを支援できるようにしていく。	・運営推進会議での意見交換等を続け、質問があった際は返答し小規模多機能への理解が進むようにした。 ・町内夏祭りへの協力確認、会議場所の提供なども継続して行えている。一方で、地域との関わりは管理者が担う事が多く、他職員が関わる機会は限られている状況に変化は無かった。 ・事業所自己評価を行う中で、介護職員より「花苗スポンサー」への登録について提案があった。職員によって意識の差異はあるが、少しずつ地域活動にも関心が向けられていると感じる事ができた。 ・包括主催の地域向けイベントに介護職員が参加し、そこで地域との関わりについてヒントになる事があった。今後取り組んでいきたいと思っている。	・会議の場所提供や避難訓練への参加、総会への出席など町内との一定の協力関係は築けていると思っている。話しやすい職員が多いと感じている。 ・サ高住の認知度は高いが小規模多機能の認知度はまだまだと感じる。地域貢献の一環として花苗スポンサー登録を始めた。 ・上記の様な地道な活動を続けていく事が良い結果に繋がるのではないかな。 ・当該年度も各包括より幾つか相談を頂いた。役割的に町内で困り事があった際は包括への相談になると思うが、包括から小規模多機能が適当なケースの相談が寄せられる様に日々の連携を継続していきたい。 ・町内夏祭りのみならず、ゴミ拾い等何か手伝えることがあれば情報頂けたらと思う。	・地域からの情報収集を続けるほか、職員のアイデアを活かしながら地域との関わりが今よりも持てるよう取り組んでいく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・引き続き夏祭りや地域のイベントに利用者が参加できるように支援する。 ・地域資源についての意見交換や共有を続け、事業所のみで支援せず地域で利用者を支援できるようにしていく。	・当該年度も希望する利用者が町内の夏祭りに参加できており、地域の方との交流が行えていた。また、希望者はラジオ体操にも参加している。 ・運営推進会議で地域資源についての情報交換を続けている。包括支援センターから提供いただいた「生活便利帳」はケアマネジャーも情報提供で用いている。 ・地域資源の活用については定期カンファレンス時に利用者個別ごとに話し合えるようにした。	・フラワーアレンジメントなどのボランティアは利用者からも好評であり今後も続けてほしい。また、イベント等で家族が様子を見て良い時があれば教えてもらいたい。 ・定期的な外出レクリエーションの開催で利用者も楽しみながら安心できる環境を提供できていると思う。 ・通いだけではなく自宅や地域からの様子を把握しながら関わる事でその方に合ったサービス提供につながっていると思う。今後も地域との関わりを継続して頂きたい。	・外出行事の実施や地域の催しに利用者が継続して参加できるようにし、閉じこもりが予防できるようにしていく。 ・余暇充実や困りごとの解消ができるように地域資源の活用についての検討を継続していく。

			・いつもラジオ体操や夏祭りに参加してもらい有難い。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・気兼ねなく意見交流できるような雰囲気を持ち続け、運営推進会議が有効的な場になるように努める。 ・会議内容については輪番参加以外の職員への周知も継続し、事業所で共通認識が持てるようにする。	・運営推進会議は和やかな雰囲気の中開催ができていると感じる。事業所の事を知ってもらうだけではなく、各関係者との情報交換は有意義であると感じる。 ・会議録の周知や全体会議内での報告で参加以外の職員も共通認識が持てるようにしている。	・運営推進会議内で地域で行っている取り組みやインフォーマルサービスの情報を収集する積極的な姿勢を感じられている。 ・パワーポイントのスライドを通して事業所の取り組みや利用者の雰囲気が伝わって良い。 ・意見が出やすい環境作りが重要と思う。 ・2か月に1回ではあるが顔の見える関係性を保つ事で日頃から声をかけやすい環境になっていると思う。 ・事業所の取り組みが分かる良い機会だと思う。	・地域資源の情報交換や町内の予定、困りごとの確認などを継続して行い、運営推進会議を事業運営に活かせるようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・BCP 研修・訓練や避難訓練を継続して行い、防災意識の維持向上ができるようにする。	・運営上必要な研修や訓練は行われており、避難訓練においては町内会からの参加も継続されている。 ・上記を行うことで防災意識の維持はできていると思われるが、向上については評価し難い面もあり達成できたか定かではない。	・防災訓練をしているのは知らなかった。 ・防災計画の整備が進み事業所内の訓練も継続している事で災害時にも安心できる体制が着実に整えられていると感じる。 ・防災訓練を通して地域住民や関係機関との連携が着実に深められている点は心強い。 ・地震のみならず台風等の災害についてもリスク管理していく事が重要と思う。 ・BCP の取り組みも何が正解か試行錯誤中だが、有事に安心できるように今後もアップデートを重ねていきたいところ。	・研修や訓練を継続しながら課題や問題点を確認し、各種マニュアルや BCP の更新をしていく。

